

Iwatani

第81期 報 告 書

2023年4月1日～2024年3月31日

岩谷産業株式会社





代表取締役会長 兼 CEO

牧野 明次

代表取締役 社長執行役員

間島 寛

「世の中に必要とされる企業」で
あり続けるために
新たな価値の創出に努め、
社会に貢献していきます

株主の皆さまへ

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り
厚くお礼申し上げます。

さて、当社の第81期(2023年4月1日から2024年
3月31日まで)営業の概況等についてご報告
させていただきますので、ご高覧のほどお願い
申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、なにとぞ今後
とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう
お願い申し上げます。

2024年6月

業績の概況

「社会課題解決」と「持続的成長」

当連結会計年度における日本経済は、世界的な金融引き締めや海外景気の下振れリスクがあるものの、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進行し、企業収益が改善するとともに設備投資も堅調に推移したことで、緩やかな回復が続きました。

このような状況のもと、当社グループは2024年3月期を初年度とする5ヵ年にわたる中期経営計画「PLAN27」に基づき、基本方針である「社会課題解決」と「持続的成長」に向けた事業拡大に取り組みました。

水素エネルギー社会の実現に向けては、福島県南相馬市で一般住宅を対象に水素混合LPガスを既存の導管で供給する実証事業が国立研究開発法人「新エネルギー・産業技術総合開発機構」(NEDO)の助成事業に採択されました。また、港湾ターミナルの脱炭素化に向けては、燃料となる水素を供給することで、阪神港コンテナターミナルで使用する荷役機械を水素エンジン発電機で動かす実証事業に参画します。

総合エネルギー事業では、LPガス直売顧客数の拡大や配送拠点の統廃合などによる配送合理化に継続して取り組みました。カートリッジガス事業は、当社では最高級モデルとなるカセットこんろを発売し、新たな顧客層を開拓しました。

産業ガス・機械事業では、東南アジアでの需要が高まる冷媒について、タイ、インドネシアに充填工場の増設を行うとともに、回収・再生事業もあわせて開始し、事業規模の拡大を図りました。

マテリアル事業では、兵庫県を中心にステンレスの加工・販売を手掛ける太平工材株式会社と太平金属株式会社の株式を100%取得したことにより、国内でのステンレスの調達・販売に加え、加工事業を強化することで、顧客への提案力の向上を図りました。

当連結会計年度の経営成績については、売上高8,478億88百万円(前年度比583億72百万円の減収)、営業利益506億35百万円(同106億円の増益)、経常利益662億2百万円(同191億90百万円の増益)、親会社株主に帰属する当期純利益473億63百万円(同153億41百万円の増益)となりました。

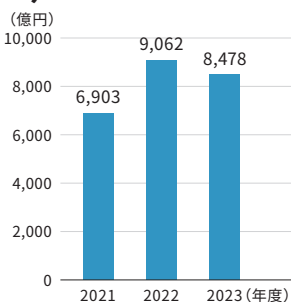
Index

株主の皆さまへ	1	連結財務諸表	8
業績の概況	2	株式に関する事項	9
業績ハイライト	3	会社情報	10
セグメント別の概況	4	中期経営計画「PLAN27」	11
今後の見通し	7	Topics	12

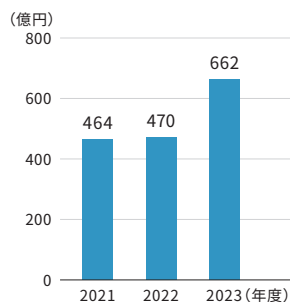
業績ハイライト

損益の推移

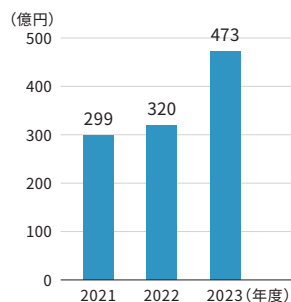
売上高
8,478億88百万円



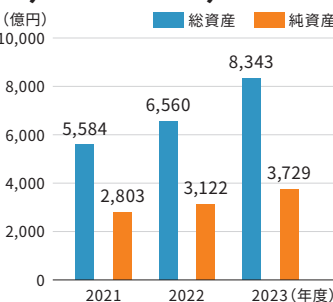
経常利益
662億02百万円



親会社株主に帰属する当期純利益
473億63百万円



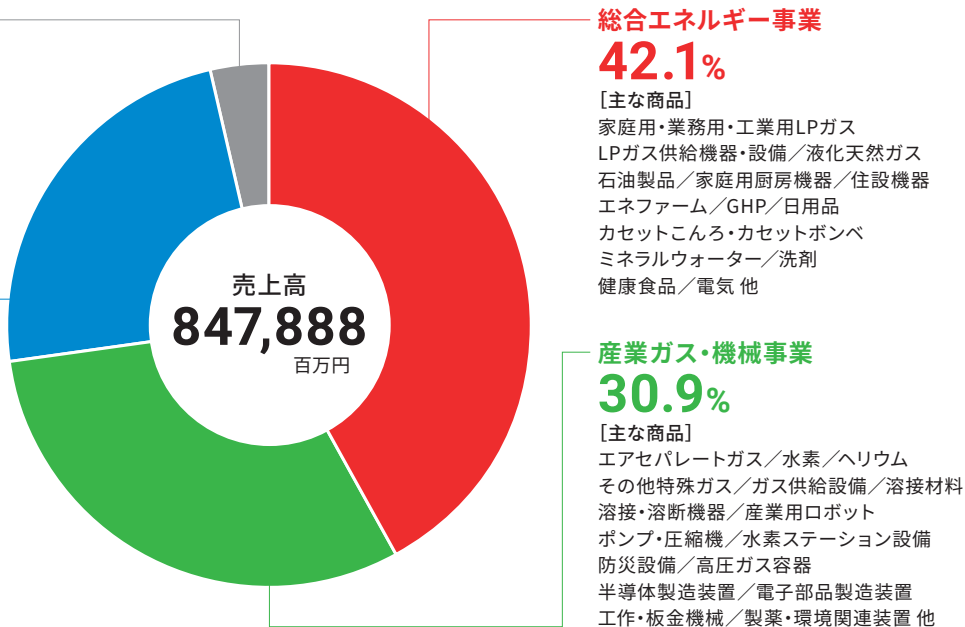
総資産／純資産
8,343億円／3,729億円



セグメントの状況

その他
3.6%
[主な商品]
食品／種豚／畜産設備・機材
金融／保険／運送／保安
情報処理 他

マテリアル事業
23.4%
[主な商品]
PET樹脂／バイオマス燃料
二次電池材料／ディスプレイフィルム
半導体材料／ミネラルサンド
レアアース／セラミックス原料
ステンレス／アルミ 他



総合エネルギー事業
42.1%
[主な商品]
家庭用・業務用・工業用LPガス
LPガス供給機器・設備／液化天然ガス
石油製品／家庭用厨房機器／住設機器
エネファーム／GHP／日用品
カセットこんろ・カセットボンベ
ミネラルウォーター／洗剤
健康食品／電気 他

産業ガス・機械事業
30.9%
[主な商品]
エアセパレートガス／水素／ヘリウム
その他特殊ガス／ガス供給設備／溶接材料
溶接・溶断機器／産業用ロボット
ポンプ・圧縮機／水素ステーション設備
防災設備／高圧ガス容器
半導体製造装置／電子部品製造装置
工作・板金機械／製薬・環境関連装置 他

当期より、事業セグメントの区分変更を行っています。このため、第80期(2022年度)の各数値は、当期の区分に対応して組み替えて表示しております。

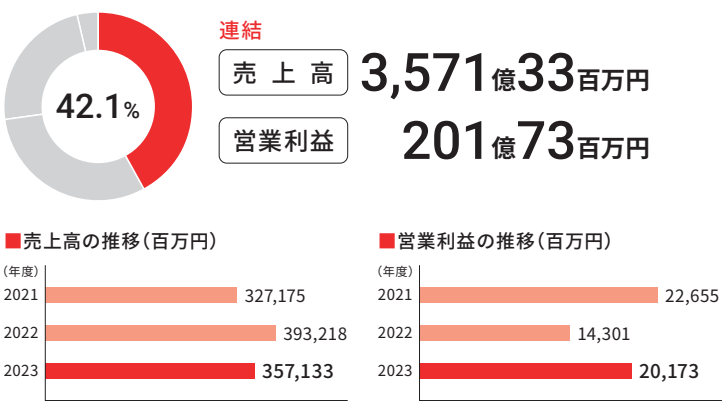
セグメント別の概況

総合エネルギー事業

総合エネルギー事業は、LPガス輸入価格が前年度を下回り販売価格が低下したことに加え、大口顧客向けを中心にLPガスの販売が減少し、減収となりました。一方、利益面においては、LPガス小売部門での収益性改善や市況要因がプラス(前年度比38億94百万円の増益)となり、またカセットガスやガス保安機器の販売が堅調に推移したことで、増益となりました。この結果、当事業分野の売上高は3,571億33百万円(前年度比360億85百万円の減収)、営業利益は201億73百万円(同58億71百万円の増益)となりました。



大型トレーラーによるシリンダー大量輸送の拠点となる「根岸液化ガスターミナル」

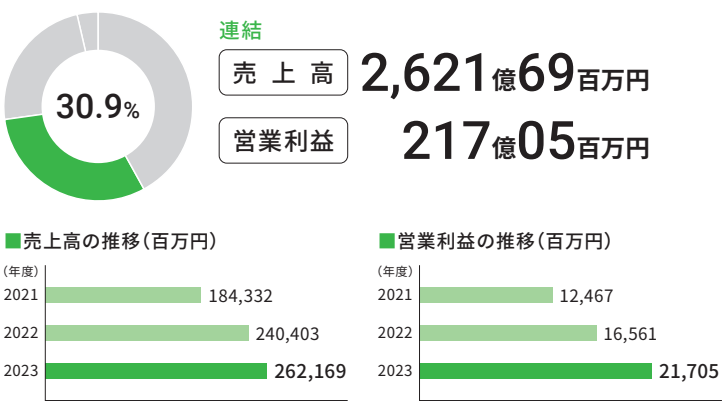


燃料電池トラックによるLPガス配送を開始

産業ガス・機械事業

産業ガス・機械事業は、エアセパレートガスおよび水素ガスについては、半導体、電子部品業界向けを中心に販売数量が減少しましたが、製造コストの圧縮に努めたことにより収益性は改善しました。特殊ガスについては、ヘリウムガスおよび炭酸ガスの安定供給に努めました。機械設備は、パワー半導体向け設備やガス供給設備の販売が好調に推移しました。

この結果、当事業分野の売上高は2,621億69百万円(前年度比217億66百万円の増収)、営業利益は217億5百万円(同51億44百万円の増益)となりました。



安定供給に取り組んだヘリウム事業

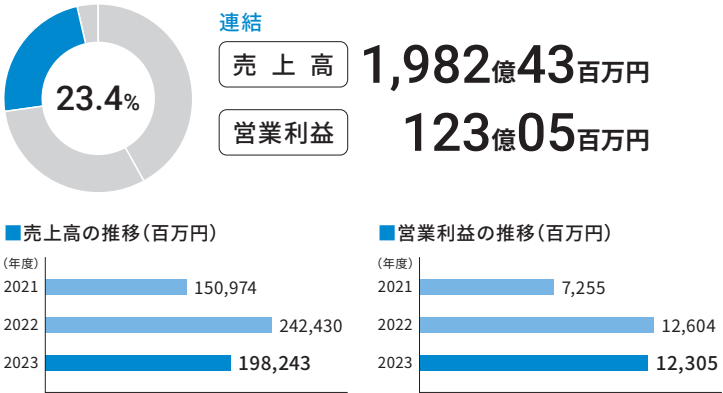


必要な電力の40%を太陽光パネルで賄う「シンガポールガスセンター」

マテリアル事業

マテリアル事業は、飲料ボトル向けPET樹脂やバイオマス燃料、スマートフォン向け機能性フィルムが好調に推移したに加え、ステンレスが堅調に推移しました。ミネラルサンドは、海外の自社鉱区での生産・販売は好調に推移しましたが、国内では需要低下に伴い販売が減少しました。また、次世代自動車向け二次電池材料は、市況下落や販売先での在庫調整の影響などにより販売が低迷しました。

この結果、当事業分野の売上高は1,982億43百万円(前年度比441億86百万円の減収)、営業利益は123億5百万円(同2億98百万円の減益)となりました。

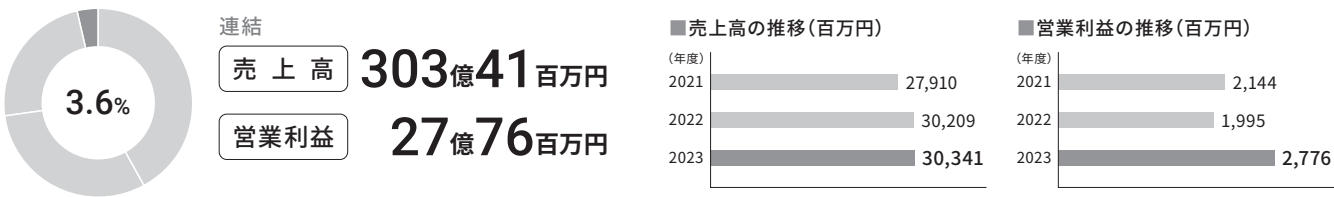


好調に推移した海外のミネラルサンド自社鉱区



堅調に推移したステンレス事業

その他





LPガス輸入基地「堺LPGターミナル」と弊社が備船している「ギャラクシーリバー号」



液化水素製造プラント「ハイドロエッジ」



ノルウェーに建設中のミネラルサンド鉱区(2024年度内に稼働開始予定)

総合エネルギー事業

総合エネルギー事業は、引き続きM&AなどによるLPガス直売顧客数の拡大と、エネルギー関連機器の販売強化により、LPガス数量の増加に取り組めます。エネルギーの低炭素化に向けては、燃料転換の推進やカーボンオフセットガスの販売強化、グリーンLPガスの開発を推進します。また、物流の最適化に取り組み、事業基盤の強化とコスト低減を図ります。カートリッジガス事業においては、東南アジアを中心に海外事業の拡大に取り組めます。

産業ガス・機械事業

産業ガス・機械事業は、エアセパレートガスや特殊ガスの調達・物流コスト上昇への対応を強化するとともに、市場拡大が見込まれる半導体、電子部品業界などへの拡販に注力します。また、脱炭素に関連して、水素やアンモニアなどの設備販売を強化します。水素エネルギー社会の実現に向けては、CO₂フリー水素サプライチェーン構築の取り組みを着実に推進します。

マテリアル事業

マテリアル事業は、低環境負荷PET樹脂やバイオマス燃料、二次電池材料などの販売数量増加による収益確保に努めます。また、ミネラルサンド事業や金属加工事業をはじめとする海外事業についても、引き続き強化を図ります。

連結貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
流動資産	309,573	流動負債	312,513
現金及び預金	33,937	支払手形及び買掛金	66,067
受取手形、売掛金及び契約資産	145,981	電子記録債務	34,935
電子記録債権	26,852	短期借入金	129,161
商品及び製品	58,510	1年内返済予定の長期借入金	12,734
仕掛品	5,204	リース債務	881
原材料及び貯蔵品	10,749	未払法人税等	12,542
その他	28,515	契約負債	7,201
貸倒引当金	△177	賞与引当金	6,765
		関係会社整理損失引当金	68
		その他	42,154
固定資産	524,817	固定負債	148,947
有形固定資産	225,412	社債	40,000
建物及び構築物(純額)	46,620	長期借入金	70,100
貯蔵設備(純額)	10,444	リース債務	1,389
機械装置及び運搬具(純額)	50,174	繰延税金負債	21,836
工具、器具及び備品(純額)	19,273	役員退職慰労引当金	1,385
土地	73,937	退職給付に係る負債	5,844
リース資産(純額)	2,158	その他	8,351
建設仮勘定	22,802	負 債 合 計	461,461
無形固定資産	36,502		
のれん	19,569		
その他	16,932		
投資その他の資産	262,903		
投資有価証券	225,427	株主資本	311,288
長期貸付金	474	資本金	35,096
退職給付に係る資産	5,624	資本剰余金	32,043
繰延税金資産	3,666	利益剰余金	245,694
その他	28,252	自己株式	△1,546
貸倒引当金	△541	その他の包括利益累計額	51,039
		その他有価証券評価差額金	37,375
		繰延ヘッジ損益	4,317
		為替換算調整勘定	8,201
		退職給付に係る調整累計額	1,145
		非支配株主持分	10,601
		純 資 産 合 計	372,930
資 産 合 計	834,391	負 債 純 資 産 合 計	834,391

連結損益計算書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円)

項 目	金 額
売上高	847,888
売上原価	618,413
売上総利益	229,475
販売費及び一般管理費	178,839
営業利益	50,635
営業外収益	18,336
営業外費用	2,769
経常利益	66,202
特別利益	3,162
特別損失	2,154
税金等調整前当期純利益	67,210
法人税等	18,856
当期純利益	48,353
非支配株主に帰属する当期純利益	990
親会社株主に帰属する当期純利益	47,363

連結キャッシュ・フロー計算書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円)

項 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161,266
財務活動によるキャッシュ・フロー	105,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,247
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	269
現金及び現金同等物の期首残高	33,256
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	87
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	1
現金及び現金同等物の期末残高	33,614

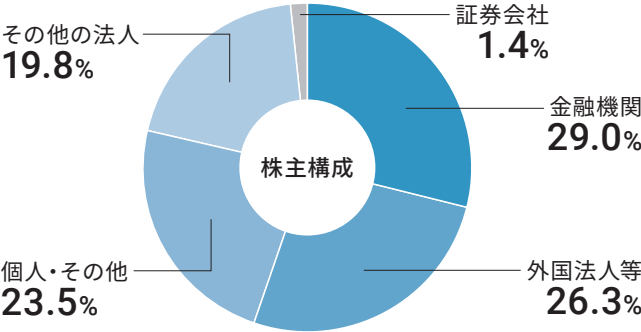
株式に関する事項 (2024年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式総数	57,584,211株
株主数	38,210名
(2023年9月末株主数との比較)	(3,210名増)

(注)発行済株式総数は、自己株式(977,438株)を控除しております。

株主構成(株式保有割合)



(注)持株比率は、自己株式(977,438株)を控除して計算しております。

株式に関するご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
期末配当金の基準日	3月31日
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.iwatani.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (フリーダイヤル) インターネットホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場

大株主

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,633千株	11.52%
公益財団法人岩谷直治記念財団	4,132	7.18%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,216	3.85%
GOVERNMENT OF NORWAY	2,211	3.84%
株式会社三菱UFJ銀行	1,336	2.32%
株式会社りそな銀行	1,177	2.05%
株式会社テツ・イワタニ	1,000	1.74%
日本生命保険相互会社	898	1.56%
岩谷産業泉友会	883	1.53%
イワタニ炎友会	771	1.34%

(注)1.持株比率は、自己株式(977,438株)を控除して計算しております。
2.岩谷産業泉友会は、当社従業員による持株会であります。
3.イワタニ炎友会は、当社と取引関係にある企業等の持株会であります。

【ご注意】

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【単元未満株式の買取請求・買増請求につきまして】

当社では、証券市場でお取引できない単元未満株式(100株に満たない株式)の買取制度(ご売却)及び買増制度(ご購入)を採用しております。ご希望の株主様は、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)へお申し出ください。
また、特別口座に当社株式をご所有の株主様は、当社特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。

会社情報

会社の概要

商号	岩谷産業株式会社
英文名	Iwatani Corporation
本社	〒541-0053 大阪市中央区本町3丁目6番4号 TEL.(06)7637-3131
東京本社	〒105-8458 東京都港区西新橋3丁目21番8号 TEL.(03)5405-5711
設立	1945年2月2日
創業	1930年5月5日
資本金	350億96百万円(2024年3月31日現在)
従業員数	1,321名(2024年3月31日現在)
URL ホームページアドレス	https://www.iwatani.co.jp/

ネットワーク (2024年6月19日現在)

国内47カ所

本社	大阪、東京
国内支社・支店など	北海道、東北、関東、首都圏、中部、近畿、中国、四国、九州など 42カ所
研究所など	中央研究所、岩谷水素技術研究所、琵琶湖コンファレンスセンター

海外79カ所

駐在員事務所	北京、中東、ドーハ、欧州
商社現地法人等	上海岩谷有限公司、広州岩谷貿易有限公司、香港岩谷有限公司、泰国岩谷会社、米国岩谷会社、シンガポール岩谷会社、岩谷オーストラリア会社など 75拠点

役員 (2024年6月19日現在)

取締役および監査役

代表取締役会長兼CEO	牧野 明次	取締役 ※	村井 真二
代表取締役副会長	渡邊 敏夫	取締役 ※	森 詳介
代表取締役社長執行役員	間島 寛	取締役 ※	佐藤 廣士
取締役 副社長執行役員	廣田 博清	取締役 ※	鈴木 博之
取締役 専務執行役員	大川 格	取締役 ※	齋藤 友紀
取締役 専務執行役員	津吉 学	監査役	尾濱 豊文
取締役 専務執行役員	福島 洋	監査役	岩谷 直樹
取締役 専務執行役員	高山 健志	監査役 ※	篠原 祥哲
		監査役 ※	横井 康

※印の取締役は社外取締役であります。
※※印の監査役は社外監査役であります。

執行役員

専務執行役員	亀倉 隆志	執行役員	齊藤 敦久
専務執行役員	上田 恭久	執行役員	駒嶺 優茂礼
専務執行役員	松尾 哲夫	執行役員	室留 宏行
専務執行役員	酒井 泰	執行役員	岡本 峰春
専務執行役員	本折 憲司	執行役員	島崎 幸三
専務執行役員	矢野 浩之	執行役員	渡邊 希美男
専務執行役員	清水 尚之	執行役員	橋本 信一
常務執行役員	西村 昌人	執行役員	武知 哲史
常務執行役員	一色 渉	執行役員	堀内 英久
常務執行役員	宮垣 尚民	執行役員	岩上 知司
常務執行役員	平島 正郎	執行役員	宮本 太郎
常務執行役員	松原 潤		
常務執行役員	竹花 知彦		
常務執行役員	中田 健志		
常務執行役員	小池 国彦		
常務執行役員	和田 直樹		
常務執行役員	横谷 和貴		
常務執行役員	山田 佳邦		
常務執行役員	中畑 勝己		

テーマ

水素エネルギー社会の実現に向けて

基本方針

「社会課題解決」と「持続的成長」に向けた事業拡大

重点施策

水素戦略

● 脱炭素関連の需要拡大を捉えた、液化水素ビジネスの拡大
● CO₂フリー水素サプライチェーンの構築

国内エネルギー・サービス戦略

● LPガスの事業インフラを活用したシェア拡大、流通合理化
● 地域社会課題解決に貢献するサービスの提供

海外戦略

● 各セグメントの強みを生かし、各地域の事業を拡大

脱炭素戦略

● 低・脱炭素ソリューション事業の推進による事業拡大
● 脱炭素社会の実現に向けた投資

非財務戦略

● 気候変動への対応
● 人材戦略
● 技術戦略

「PLAN27」の経営数値目標および実績

「PLAN27」の経営数値目標および実績は、下表のとおりです。

指標	目標(2028年3月期)	第81期(2024年3月期)
営業利益	650億円	506億円
ROE	10%以上	14.3%
ROIC	6%以上	6.7%

第81期(2024年3月期)実績は、LPガスの小売分野における収益性改善に加え、産業ガス・機械事業において、昨年度から製造コスト上昇への対応を進めた結果などにより、営業利益は506億円、ROEは14.3%、ROICは6.7%となりました。今後につきましては、引き続き重点施策に基づいた戦略を実行し、PLAN27の経営数値目標である営業利益650億円、ROE10%以上、ROIC6%以上の達成を図ります。

コスモエネルギーホールディングスとの水素事業の取り組み強化および事業連携の加速

2023年11月、当社とコスモエンジニアリング株式会社は、水素サプライチェーンにかかわる設備設計、建設工事への参画を目指し、水素関連プロジェクトのエンジニアリング事業協業のため「コスモ岩谷水素エンジニアリング合同会社」を設立しました。

また、当社とコスモ石油マーケティング株式会社の出資会社である岩谷コスモ水素ステーション合同会社は、燃料電池大型トラックに短時間で大量の水素を充填できる水素ステーションとして、2024年4月に、東京都大田区に「岩谷コスモ水素ステーション平和島」を開所しました。同社は東京都より、江東区有明および新砂の都有地における燃料電池バス・トラック向け水素ステーションの整備・運営事業者としても選定されております。今後も合同会社を通じて、燃料電池バス・トラック向けの需要に対応した水素ステーションの建設を検討してまいります。

当社は2023年12月および2024年3月に、コスモエネルギーホールディングス株式会社の株式を取得し、持株比率が20%を超え、同社は持分法適用会社となりました。今後は両社で、水素事業をはじめとする脱炭素ビジネスだけでなくLPガスなどの既存取引における事業連携も検討し、企業価値向上に向けた取り組みを加速してまいります。



燃料電池大型トラックに対応した「岩谷コスモ水素ステーション平和島」

能登半島地震への対応
緊急支援物資をお届け、MaruiGas災害救援隊も出動

1月1日に発生し、最大震度7を記録した令和6年能登半島地震では、多数の住居や建物が倒壊し、多くの人的被害も発生しました。ガス&エネルギーを取り扱う当社は、その社会的責任を全うするため、グループ丸となってLPガス設備などのライフラインや産業ガス設備の点検・復旧作業、また被災地への救援物資のお届けなどに取り組みました。

1月4日に「サウジアラムコー岩谷産業 緊急災害時LPガス支援基金」を活用し、「カセットこんろ」、「カセットボンベ」、「富士の湧水」などを各被災地にお届けしたことを皮切りに、被災地からの要請に応じながら「カセットガストーブ」などの追加支援物資をお届けしました。1月12日からは「MaruiGas災害救援隊[※]」を出動させ、被災地のLPガス設備の調査・点検・復旧作業を行った他、大容量の炊飯器や調理鍋、強火こんろをセットにした当社製品「デリバリーステーション」を用いた炊き出しも実施しました。今後も引き続き被災地の復旧を支援してまいります。

※ MaruiGas災害救援隊は1995年の阪神・淡路大震災を契機に全国の地域ごとに組織された当社のLPガス販売店による災害復旧部隊で、災害時に出動しLPガスを速やかに復旧させることを目的としています。登録隊員数は約3,600名、これまで今回も含め32事例に対して出動しています。



被災地のLPガス設備調査と緊急支援物資のお届けに向かう「MaruiGas災害救援隊」

2025年大阪・関西万博で旅客運航予定の水素燃料電池船の建造が進んでいます

当社は、2025年に開催される大阪・関西万博において、国内初となる水素燃料電池船の旅客運航を行うこととなっています。船の軽量化を可能にするアルミニウムを使った建造を得意とする広島県尾道市の(株)瀬戸内クラフトにおいて完成に向けて取り組んでいます。本年半ばの完成を目標に建造を進めております。

デザインは、カーデザイナーとして世界的に有名な山本 卓身氏に手掛けていただきましたが、流線型の美しさにこだわり、未来や海の上をかける神獣のイメージと、海の上のパビリオンを神獣が抱きかかえるような空間の2つをイメージし船に表現しました。未来を感じられる斬新なデザインとなっており、従来の内燃機関船と違い、走行時にCO₂や環境負荷物質を排出しない高い環境性能を有するだけでなく、におい、騒音、振動のない優れた快適性を実現します。本年2月には同船への水素充填を行うパンクリング施設が関西電力(株)南港発電所内に完成しました。現在、試運転を行っており、供給体制の構築に向けた準備を進めているところです。

本船は、「動くパビリオン」と位置付けており、大阪・関西万博会場までの移動を特別な体験に変え、水素エネルギーの魅力を世界に発信することを目指してまいります。



大阪・関西万博で旅客運航予定の水素燃料電池船(イメージ)

至高の質感と機能美を追求したカセットこんろ「イワタニカセットフー“極”」を新発売

当社は、カセットこんろの至高モデル、「イワタニカセットフー“極”(きわみ)」を1月31日より販売を開始しました。デザインは、当社が大阪・関西万博で運航を予定している水素燃料電池船のデザインも手掛けた山本 卓身氏が監修しました。

これまで四角いデザインが主流だったイワタニカセットフーシリーズですが、今回の「イワタニカセットフー“極”(きわみ)」では、ごとくと脚が一体となったデザインを採用し、シンプルかつ機能的な仕様に仕上げました。また、ローズゴールドの円形トッププレートで「和(なごみ)」のコンセプトを表現しました。

盃形の本体は、テーブルから浮いているかのようなシルエットにデザイン。安定感がありつつも、食卓を重く覆うことなく、盃のように軽やかに食卓を彩ります。

アルミダイキャスト製法を用い、黒を基調とした本体にはレーザートーンの特殊塗装を施しました。これにより、上質な質感を持ちつつ、メンテナンスの機能性も兼ね備えています。

当社が日本初のカセットこんろ「カセットフー」を発売してから55年が経ちます。これからも、ご家庭やアウトドアなど、さまざまなシーンで「カセットフー」のある暮らしをご提案してまいります。



「イワタニカセットフー“極”」

企業内大学「イワタニ技術・保安大学」を開設 技術力・保安力に精通した社員を育成

産業や人々の暮らしを支えるガス&エネルギー事業を基幹事業とする当社にとって、安全・安心の確保は最も重要な責務です。当社に必要な技術や保安に関する知識・能力の向上など、グループ会社も含めた人材育成を目的として、企業内大学「イワタニ技術・保安大学」を10月に開設しました。

本大学では、知識、体験、伝承を3本の軸として、eラーニングを活用した「講習」、中央研究所・岩谷水素技術研究所などで行う「実習」、経験豊富なベテラン社員や社外有識者による「講話」の3講座を実施し、取得した単位数に応じて修了認定を行います。開設以降、10月と3月には「講話」講座を、また、12月と1月には研究所において高圧ガス設備の取り扱いやガス分析についての「実習」講座を行うなど、日常の業務現場で生かせる学びを深めております。

今後も、技術や保安にかかる提案力・現場対応力の向上を図るとともに、これまでに先人が蓄積してきたノウハウの伝承、そして脱炭素社会への移行に伴う事業拡大に必要な社員の資格取得を目指し、体系立った社員教育を実践してまいります。



中央研究所で開催した講座の様子

陸上競技部が創部7年目にして「プリンセス駅伝」初優勝 「クイーンズ駅伝」も8位に入賞し、翌年のシード権を獲得

10月22日、福岡県にて開催された「プリンセス駅伝2023 in 宗像・福津(第9回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会)」にて、創部7年目の陸上競技部が2時間18分46秒で見事優勝し、翌月開催のクイーンズ駅伝への3年連続となる出場権を獲得しました。クイーンズ駅伝は、前年上位8チームの「クイーンズ8(エイト)」に加え、プリンセス駅伝の上位16チーム^{*}が参加し、実業団女子駅伝日本一をかけて戦うレースです。勢いに乗った当社陸上競技部は、11月26日に宮城県で開催された「クイーンズ駅伝2023 in 宮城(第43回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会)」においても2時間16分34秒の好タイムで8位に入賞し、当社初となるクイーンズ8入りを果たしました。これにより、2024年のプリンセス駅伝への出場は免除され、クイーンズ駅伝に出場できるシード権を獲得しました。

^{*} 今回のクイーンズ駅伝には、前年のクイーンズ8に加え、プリンセス駅伝2023上位16チームと、MGC(マラソングランドチャンピオンシップ)出場選手所属の1チームを含む25チームが出場しました。



「プリンセス駅伝2023」優勝のゴールテープを切る青木 奈波選手

「挑戦」をつづけるイワタニ

和歌山・黒潮フルーツラインを走行するCROWN Z(燃料電池車)

ホームページのご案内

IR(投資家情報)ウェブサイトでは、決算短信、有価証券報告書、統合報告書などのIR関連資料、株主総会に関する情報など、株主・投資家の皆さまのための情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

イワタニ

検索

<https://www.iwatani.co.jp/>

IR(投資家情報)ウェブサイト

<https://www.iwatani.co.jp/jpn/ir>

<https://www.iwatani.co.jp/eng/ir> [英文サイト]

Iwatani
岩谷産業株式会社